

KFA 第 24 回 熊本県サッカー選手権大会
天皇杯 JFA 第 100 回全日本サッカー選手権大会

大会参加者への連絡事項

～試合会場における感染防止策～

試合会場において、主催者側で以下のとおり対応しますので、参加チーム、審判その他運営協力者等におかれましても合わせて対応いただきますようお願いいたします。

1、事前の対応

- ① 当日、発熱(自宅等、会場到着前に検温を実施)や咳、咽頭痛などの症状がある場合、家族等に感染が疑われる人がいる場合、過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合には、自主的に参加を見合わせてください。
- ② 来場者(ウォーミングアップ、試合時の選手、審判を除く)全員のマスク着用をお願いします。
- ③ 参加者が、後日、新型コロナウイルス感染症を発症した場合には、速やかに大会本部への報告をお願いします。
- ④ 参加者は、誰とどのくらいの距離で話したか、マスクを着用していたかなど、接触状況を記憶しておいてください。(感染者発生時に、濃厚接触者特定に役立ててください)
- ⑤ 各チームは、当日の来場者名簿を提出してください。決勝戦についてはエントリー選手 40 名及び 7 名のチーム役員を上限として来場を認めます。

2、会場における対策

- ① アルコール等の消毒液を準備します。
- ② 室内では、原則ドア、窓等を開放します。
- ③ 座席は、原則 2 m 間隔をあけ、お互いが正面にならないようにします。
- ④ トイレ等の手洗いは、30 秒以上お願いします。
- ⑤ 更衣中は、マスクを着用するとともに会話を最小限にとどめる。交替で着替える等、密集を避ける。
- ⑥ ボトル、コップ、タオル等の共用はしない。回し飲みをしない。飲み残しの水を会場内に捨てない。(決められた場所での洗浄は可)
- ⑦ ゴミはビニール袋に入れて密閉し、持ち帰ってください。ゴミ処理後は必ず手を洗い、手指消毒も合わせてお願いします。

3、試合における対策

- ① 試合前、試合後の相手チーム、審判団との握手は実施しない。
- ② 円陣は組まない。
- ③ 倒れた選手に手を貸さない。(重症時は別途審判の判断で対応)
- ④ 得点時にハイタッチ、抱擁等を行わない。
- ⑤ ピッチ内でも咳エチケットを守る。つば吐き、手鼻をかむなどの行為をしない。
- ⑥ 口に含んだ水を吐かない。ボトルを共有しない。タオルを共有しない。水をためたクーラーボックスを共有しない。
- ⑦ ピッチ上で選手同士や審判員との会話でも、お互いの距離を保つよう配慮すること。
- ⑧ ベンチではマスクを着用し、会話を極力控えること。(控え選手のウォーミングアップ及びテクニカルエリアでのコーチングに限り監督1名はマスクを外すことができる)

※ 以上の対策を実施しても感染リスクはゼロではありません。最低限の対策ですので、必ず全員が守るようにお願いします。

来場者全員がマスク着用することで、熱中症発症のリスクが高まります。こまめな水分補給などを心掛けましょう。